



お江戸舟遊び 瓦版 434号

水彩都市江東 ころろ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり
お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

コミュニティガーデンによる花とみどりに彩られたまちづくりの推進

日時： 6月16日（木）13:00～17:00

場所： 葛飾区 松南の森（旧松南小学校跡地）

江東区民と江東区施設保全課との協働事業の他区での取組視察で、葛飾区の案内を頂き、松南の森等に伺った。

葛飾区は「花いっぱいのもちづくり」を、環境課、地域振興課、観光課、高齢者支援課、道路補修課、公園課、地域教育課、生涯学習課の多様な様々な仕組みを活用し、商店街、町会、花壇を育てる会、学校、子供会、長寿会、等々の多様な区民の方々が区と協働して展開している！地域のアンケートで「花と緑が少ない」との要望から環境部緑化推進係が花いっぱい推進協議会を立ち上げて、114地点の区内のスペースを斡旋し、99団体に種や苗、用具の支援で、広がっている！<https://www.hanaichi-katsushika.jp/>

江東区も負けずに「CIG」で花とみどりの生物多様性都市を目指して頑張りたい！！



新小岩駅前の「えきひろの花こみち」



駅前商店街の「あきないの花こみち」



新小岩第5自治会花こみち



小松保育園「小松キッズガーデン」



旧松南小学校跡地「松南パル」



校庭の周囲のクローバー群



校庭周辺の緑の散歩道



葛飾区の方から松南パルでの丁寧な解説



今はバスにも案内パネルが

NPO 日本国際ボランティアセンター会員総会

この5年がミライを決める！JVC 中期目標を考える

日時：2016年6月18日 <http://www.ngo-jvc.net>

所：東京ウイメンズプラザ

開会挨拶：谷山博史（JVC 代表理事）

今、世界は危機と希望が複雑に交錯し、誰も先を見通せない混沌とした状況にある。フランスとベルギーの同時多発襲撃事件は、先進国の市民生活の内部にも憎しみが浸透し、異なる価値観による亀裂を生んでいる。「テロ」の背景として世界規模での資源争奪と気候変動の影響が深刻化している。土地や水、森林、石油などの資源が枯渇しているにもかかわらず、各国は経済成長のために資源争奪の競争を加速させ、世界秩序の変動と先進国の武力による権益確保の動きを誘発している。

JVC はこれらの危機に対応する8つの中期目標を掲げ、果敢に進んでいくつもりである。

1. **長期目標：** JVC は、すべての人々が自然と共生し、安心して共に生きられる社会をつくる。
2. **ミッション：** 今日世界には、収奪的な開発等による環境破壊、またそれによる災害や生活の不安定にさらされている社会が多い。さらに紛争や構造的な貧困・差別など人としての権利が脅かされている人々が多い。JVC はそのような社会や人々を支え、彼らと共に、その状況を打破し、長期目標に掲げた方向に向かって新しい生き方を広めることを基本的な使命とする。

3. 中期目標

3-1 地域開発：

- ① 地域開発事業において、その計画時、実施時、評価時に RBA（人権にもとづく開発アプローチ）の手法を取り入れる。
- ② 手の届かない人々への支援：構造的な極度の貧困、不適切な開発の歪み、抑圧や差別、政治的迫害等々、支援の網から漏れがちな人々への JVC などの支援の在り方を確立する。

3-2 人道支援/平和構築

- ③ 紛争地活動の指針： 紛争地での活動において、紛争を助長しない、もしくは平和を促進・構築するための指針についての整備が行われ、適用されるようにする。
- ④ 平和構築の活動： 紛争地での活動において、「人道支援」や「紛争を助長しない」活動に加え、むしろ積極的・直接的に「平和を構築する」ための活動を増加する。

3-3 日本国内の災害支援

- ⑤ 東日本大震災における JVC の対応の検証を行い、今後日本で起こりうる大規模災害（原発を含む）に対応する JVC などの「国内災害支援対応計画」を作成し、運用する。

3-4 アドボカシー/ネットワーク

- ⑥ 活動現場から提起されるアドボカシー課題に対して、問題の進行を止め、問題解決の機運や代案が推進されるように適切なタイミングで適切な関係者に働きかけができるようにする。
- ⑦ 新自由主義経済や、それに起因する紛争による地域主権や資源収奪から生活を守り、平和と尊厳ある暮らしを構築しようと取り組んでいる各国の農民や市民の運動と連帯し、経験交流の中で学び合いと提言を活性化する。

3-5 組織基盤整備

- ⑧ 活動を安定して展開するために、組織面（財務、労務、人材育成、意思決定）での更なる強化。

所感： 国内外の困難な状況にある人たちのために何ができるかを問い続けながら、世界各地に出かけ、苦勞しながら取り組んでいる JVC の総会に参加することができた。先進各国の成長のための資源争奪・武力による権益確保については抜本的な検討が必要と思う。（文責 中瀬）

